



特徴

- THD+N -106 dB(代表値)
FFT 1,200,000ポイント
- コーディングすることのない
圧倒的な測定スピード
- ワンクリックで測定できる
インタラクティブ
ユーザーインターフェース
- VB、.NET、C#.NET、MATLAB
LavVIEWドライバに対応
- スペースを占有しない
小型ボディ、重量わずか4 kg
- プロジェクトファイルは
他のAP x シリーズで共有可能
- 伝達関数測定、Open Loop
Chirp(OLC)測定対応*
- IMD、MOL、ダイナミックレン
ジ、FFTなどを含む拡張測定
ライブラリ

*チャープ信号出力オプション必須

小型・軽量、フィールドユースにも

APx515Bは製造ラインでの試験に最適化された高性能オーディオアナライザです。スピード、パフォーマンス、オートメーション、使い易さにおいて業界で最も優れた製品です。

APx515を使用すれば、主要なオーディオ測定を3秒以内に完了することができます。APx515は低価格でありながら優れた性能を保持しており、他のAPxシリーズ オーディオアナライザ同様のワンクリック自動測定や使い易さだけでなく、代表値-106dBのTHD+N、1.2メガポイントのFFT解析能力、216kデジタルI/Oを兼ね備えています。また、お届け前にISO:17025校正を実施され、3年間の保証付きです。

ローコストで容易に自動試験を実現

APx515BはGUI経由でスタンドアロン動作をさせることもできますが、.NETやLabVIEWアプリケーションから制御することもできます。どちらの場合でも、キーボード、フットコントローラ、バーコードスキャナ等から制御できます。また、完全に自動制御とすることも可能です。スイッチャーや、合否判定表示用ライトなどの外部デバイスもサポートしています。

スタンドアロンモードでは、一般的なオーディオ測定のリストから測定項目を選択することで、複雑な試験シーケンスをコーディングすることなく組むことができます。また必要に応じて合否リミット、拡張構成、ユーザープロンプトを追加設定でき、レポートの形式もマイクロソフトワードによるグラフィカルなレポートやCSV出力などから選択可能です。不慮の変更から製造ラインで運用するプロジェクトファイルを守るためにプロジェクトの変更をロックすることもできます。

自動化された工程では、.NETやLabVIEWといったマスターアプリケーションからAPI、APx LabVIEWドライバーを利用してAP x 515を制御します。個々の測定を生成したり、マスターアプリケーションから、予めAPX UI上で作られた試験シーケンスを呼び出すこともできます。

ソフトウェアオプション

APx515Bは測定の能力を向上させる多種多様なソフトウェアオプションがございます。

| | | | | | |
|----------------|-----------------------------------|------------------|---------------------------------------|-------------------|---------------------------------------|
| SW-HST | ハイスピードマルチトーンおよびチャープ信号によるスイープ測定の追加 | SWB-2 | ACR,AML,ASIO,HSTパッケージ | SW-POLQA-2 | POLQA機能を追加 |
| SW-AML | IMD、MOL、ダイナミックレンジ、FFT、その他拡張測定の追加 | SWB-6 | ACR,AML,ASIO,HST,BENパッケージ | SW-PESQ | PESQ機能を追加 |
| SW-ACR | アコースティック応答測定の追加 | SW-SPK-PT | ピリツキ音(Rub & Buzz)検出、変調雑音エアリーク検出機能等の追加 | SW-STI | STI測定機能を追加 |
| SW-ASIO | PCオーディオインターフェース用ソフトウェア接続機能を追加 | SW-SPK-RD | SW-SPK-PT、SW-ACR、ティール・スモール機能等の追加 | SW-ABC-MRT | ABC-MRTアルゴリズムをベースにしたスピーチインテリジェンス測定を追加 |
| SW-BEN | Benchモード機能を追加 | | | | |

Audio Precision社製品の測定結果はベンダー様、設計者様、製造業者様すべての方から信頼されています

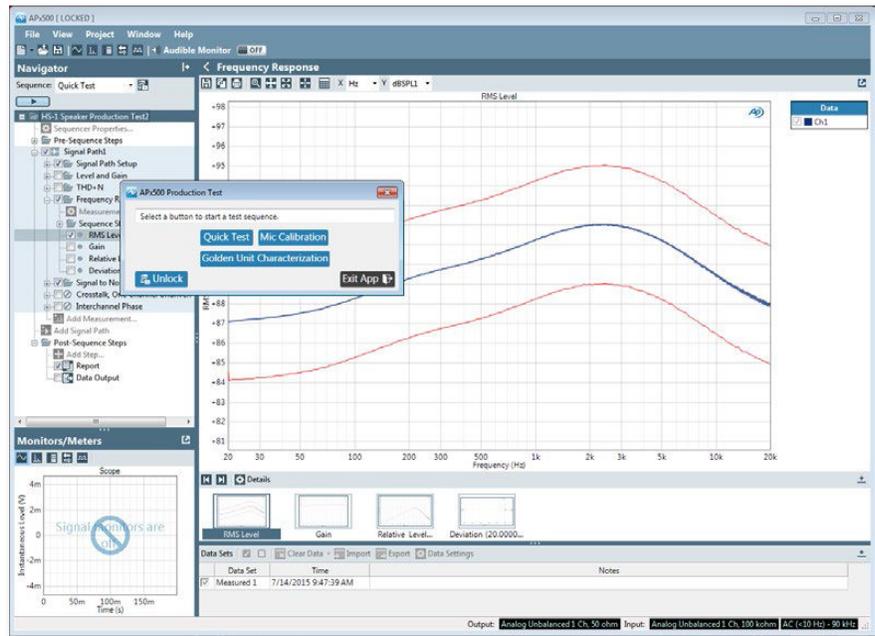
世界中の何千人という技術者の方がオーディオプレジション社製品を使用して得られた測定結果を信頼しています。関係者それぞれが使用している測定器が正確で、かつ測定結果が信頼できると相互に認められてはじめて、コラボレーションすることができるのです。

すべてのAPxシリーズ オーディオアナライザは同じソフトウェアから制御されているため、測定プロジェクトや結果を世界中のベンダー様、研究開発者様、製造業者様で共有することができます。

例えば、APx525をお使いのテスト技術者様が製造ライン用途の試験シーケンスを作成し、APx515を使用されている契約製造業者様に電子メールで送ったとします。APx515のオペレータは、APx515の設定はそのままに、稼働中の製造ラインで受け取った品質保証テストを実行し、被測定物の実出力結果を保存、電子メールで送り返します。これにより、テスト技術者様が再解析が可能となります。

APx515B 標準測定機能

- Level & Gain ; レベル&ゲイン
- Frequency Response ; 周波数応答
- THD+N ; 全高調波歪み+ノイズ
- Signal-to-Noise Ratio ; S/N比
- Noise ; ノイズ
- Crosstalk ; クロストーク
- Interchannel Phase ; チャンネル間位相
- DC Level ; DCレベル
- Frequency Measurement ; 周波数測定
- Measurement Recorder ; 測定レコーダ
- Stepped Level Sweep ; ステップレベル掃引
- Stepped Frequency Sweep ; ステップ周波数掃引
- Compare Encoded Bitstream ; 符号化ビットストリームの比較
- CMRR
- SINAD
- Pass / Fail ; 合否判定
- Scope Monitor ; スコープモニタ
- DC Level Sweep ; DCレベル掃引
- Q-peak Noise ; Qピークノイズ
- Level Ratio ; レベル比
- Input Sample Rate ; インプットサンプルレート



| Serial number | Test Pass/ Fail Status | Test Start time | Test Stop Time | Left DC Offset |
|---------------|------------------------|-----------------|----------------|----------------|
| 4 | | | | |
| 5 | PASSED | 10:43:03 AM | 10:43:06 AM | 0.03 |
| 6 | PASSED | 10:43:08 AM | 10:43:09 AM | 0.03 |
| 7 | PASSED | 10:43:11 AM | 10:43:12 AM | 0.02 |
| 8 | PASSED | 10:43:14 AM | 10:43:15 AM | 0.01 |
| 9 | PASSED | 10:43:17 AM | 10:43:18 AM | 0.03 |
| 10 | PASSED | 10:43:20 AM | 10:43:21 AM | 0.03 |
| 11 | PASSED | 10:43:23 AM | 10:43:24 AM | 0.01 |
| 12 | PASSED | 10:43:26 AM | 10:43:27 AM | 0.01 |
| 13 | PASSED | 10:43:29 AM | 10:43:30 AM | 0.03 |
| 14 | PASSED | 10:43:32 AM | 10:43:33 AM | 0.04 |
| 15 | FAILED | 10:43:35 AM | 10:43:36 AM | 0.05 |
| 16 | PASSED | 10:43:38 AM | 10:43:39 AM | 0.01 |
| 17 | PASSED | 10:43:41 AM | 10:43:42 AM | 0.02 |
| 18 | PASSED | 10:43:44 AM | 10:43:45 AM | 0.01 |
| 19 | PASSED | 10:43:47 AM | 10:43:48 AM | 0.02 |

▲ 高速かつ直感的なUI

APx500ソフトウェアのProduction testモードの例です。このモードでは、試験者が使用するシステムを設定可能なプリセットをカスタムの範囲内に制限できます。

◀ クラス最高の測定スピード APx515による製造ライン試験

主な仕様

システム性能

残留 THD+N (20 kHz BW)
-102dB + 1.4 μV
Typical <-106 dB (1 kHz, 2.0 V)

出力性能

サイン周波数レンジ
2.0 Hz to 80.1 kHz

周波数精度

3 ppm

IMD テスト信号
SMPTE, MOD, DFD

最大振幅 (平衡)
16.00 Vrms

振幅精度
±0.05 dB

フラットネス (5 Hz-20 kHz)
±0.010 dB

アナログ出力構成
不平衡、平衡、コモンモード

デジタル出力サンプリングレート
27 kS/s - 200 kS/s*

ドルビー/DTS出力
Yes (encoded file)

*光学上 27 kS/s to 108 kS/s

解析性能

最大入力電圧
125 Vpk

最大帯域幅
>90 kHz

IMD 測定能力
SMPTE, MOD, DFD

振幅精度 (1 kHz)
±0.05 dB

振幅フラットネス (10 Hz-20 kHz)
±0.010 dB

残留入力雑音 (20 kHz BW)
1.4 μV

ハーモニックアナライザ
d2-d10

最大FFT長
1024K points

直流電圧測定
Yes



Accredited by A2LA
under ISO/IEC: 17025
for equipment calibration